

平成28年度 第2回 天王寺区区政会議（合同会議）

日 時：平成28年12月14日（水）

午後7時00分～午後8時48分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

出席者

（区政会議委員）

出水委員・一本松委員・江畑委員・小野委員・神崎委員・栗谷委員

越村委員・田淵委員・出村委員・中上委員・中野委員・原田（久仁彦）委員

原田（恵子）委員・原田（照久）委員・飛田委員・平田委員・南委員

出席17人／定数27人

（市会議員）

足高委員

（天王寺区役所）

西山区長・朝川副区長・川畠企画総務課長・佐藤事業戦略担当課長

森（茂樹）市民協働課長・大垣危機管理課長・北吉未来人材育成担当課長

寺井保健福祉課長・樋上保健・生活支援担当課長・加守田窓口サービス課長

尾古貴区民の声集約担当課長代理・渡邊危機管理担当課長代理

岩上市民協働課地域活動支援担当課長代理

○佐藤事業戦略担当課長

それでは定刻となりましたので、第2回天王寺区区政会議を始めさせていただきます。よろしくお願いたします。

私、天王寺区役所事業戦略担当課長の佐藤でございます。どうぞよろしくお願いたします。

初めに本日の配付資料についてご確認をお願いいたします。お手元に配付目録のほうがついておりますので、そちらのほうでご確認いただきたいと思います。もし不足の資料等ございましたら、お声がけくださいませ。よろしくお願いたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず初めに、西山区長よりご挨拶申しあげます。

○西山区長

皆さん、こんばんは。天王寺区長の西山でございます。

本日は、お寒い中、また年末の何かとお忙しい中ご出席賜りまして誠にありがとうございます。平素から天王寺区政、ひいては大阪市政に格段のご理解とお力添えを賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして改めてお礼申しあげます。ありがとうございます。

私もこの4月に区長に就任しまして、早8カ月が経ちました。今から来年度の区の運営方針等につきまして意見交換をさせていただきたいと思っております。この運営方針ですけれども、私が区長になってから初めて作成するものでございます。ただ、これまでの区の将来ビジョン、運営方針を踏まえることはもとより、今年8月に制定されました市政改革プラン2.0では、市民・利用者の視点に立った質の高い行財政運営の推進、民間活力の活用等によるサービスの向上、あるいは人材育成の強化ですとかP D C Aサイクルの徹底などがうたわれております。こういった市政改革の視点も入れまして新たに作成したところでございます。ご議論をいただくにあたりましては、もちろんお褒めの言葉をいただければありがたいですが、厳しいご意見もいただくことになろうかと思っております。この場で忌憚なき意見交換をしていただくことで、より良きものにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

簡単ではございますけれども、ご挨拶にかえさせていただきます。よろしくお願いたします。

○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございました。

議題に入ります前に報告事項がございます。まず本日出席の委員ですが、配席図のとおりとなっておりますので、個別の紹介については割愛させていただきます。

なお、朝倉委員、河村委員、湖東委員、酒井委員、服部委員、眞野委員につきましては、本日所用があり欠席の旨ご連絡をいただいております。皆様によろしくお伝えくださいとのことですので、よろしくお願い申し上げます。

また、区政会議には、お忙しい中、足高先生にご出席いただいております。ありがとうございます。金子先生からは急な所用で本日欠席するというご連絡をいただいておりますことを、この場をお借りしてご報告させていただきます。本日の議題の後に足高先生におかれましてはご助言・ご意見をいただきますようお願い申し上げます。

本日の会議については傍聴をいただいております。ご発言の際は担当者がマイクをお持ちいたしますので、傍聴の方にも聞こえるようにマイクを使って声が通るようにお願い申し上げます。なお、過日開催の区政会議でのご意見につきましては、区の広報紙10月号、12月号でご紹介させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、議長からまずはお挨拶をお願いしたいと思います。小野議長、よろしくお願いいたします。

○小野議長

皆さん、こんばんは。お忙しい中、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。皆さんもご承知のとおり、区政会議の委員は地域団体の活動としているメンバーや公募によるメンバーがいて、また年代も多岐にわたっています。この会議では、皆さんのこれまでの活動等を通じ、さまざまな経験や知恵をもとに区政に関する多様なご意見をいただき、役所にはこれまでに以上によりよい取組を進めていただきたいと思いますと考えています。なお、議事進行のほうは栗谷議長様をお願いしたいと思います。よろしくお願い申し上げます。皆さん、最後までご協力をお願いいたします。どうもありがとうございました。

○佐藤事業戦略担当課長

それでは、議事進行を栗谷議長にお願いいたします。

○栗谷議長

皆さん、こんばんは。区政戦略会議の栗谷です。本日は、師走のお忙しい中、たくさんの皆様にお集まりいただきましてありがとうございます。着席させていただきます。

それでは、本日も皆様のご協力のもと会議が有意義なものとなりますよう進めてまいります。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

初めに本日の会議の流れをご説明いたします。本日の議題は、「平成28年度区運営方針の中間振り返りについて」及び「平成29年度区運営方針の素案について」ですが、この2つの議題は関連しますので一括して取り扱うことにいたします。

まず初めに区役所よりポイントの説明をいただきまして、その後、質疑や意見の交換を行いたいと思います。午後8時45分ごろには質疑等は終了させていただきまして、引き続き足高議員よりご助言・ご意見をいただければと考えています。皆様のご理解・ご協力のもと本日はよろしくお願い申しあげます。

まず区役所より説明いただきますが、意見交換等で多くの時間をいただきたいと思いますので、ポイントを絞り簡素にお願いしたいと思います。それでは西山区長よろしくお願い申しあげます。

○西山区長

それでは私から、資料1平成29年度の天王寺区運営方針（素案）の概要版の中で区政推進にあたっての私の基本的な方針をご説明させていただきます。

まず、この資料1の1ページ目の下部分をご覧いただきたいと思います。運営方針の骨格は、2ページ、3ページの区の目標ですとか区の使命ですとか基本的な考え方等を載せております。またご参照いただけたらと思います。

この運営方針の骨格につきましては、私としましてもしっかりと作り込んでいると認識しております。行政の取組にはある程度の継続性も重要であると考えていますので、これまでの

運営方針の骨格を基本的に踏襲しながらも、区の目標の達成に全力を尽くしてまいり所存でございます。施策事業の基礎となるのは、2つ目の星印の区政会議、あなたの声をつなげ隊、区民モニター等々のいただいた区民の声だと思っています。区民の皆さんのさまざまな意見をしっかりと聞きまして、区政にしっかりと反映させる取組を着実に進めてまいりたいと考えております。

それから、区政の中で私が最も力を入れていきたいと思っていますのが、区民の皆様方の安全・安心の部分でございます。東日本大震災、熊本地震、それから最近では鳥取でも地震がおきております。上町断層を抱えているこの天王寺区は、地域ぐるみの防災力をさらに高めていくことが喫緊の課題だと思っています。区内の住民のうち8割超を占めるマンション住民の方、この方々への防災の取組の働きかけと地域の皆様とのつながりづくり、さらには区内のさまざまな企業あるいは天王寺の特徴・特性であります神社仏閣や病院が多いこと、それぞれの強みを生かした連携を取っていけるような、災害時の協力体制の構築などに取り組んでまいりたいというふうに考えています。

また区民の皆さんが住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるように、ひとり暮らしの高齢の方とか、それからさまざまな支援を要する方に対する見守り体制の推進というのは進めていくべきと思っていますし、さらには地域包括ケアシステムの構築を進めるなど区民の皆さんの暮らしの安心をしっかりとサポートしていきたいと考えております。さらには子どもたちが安心して育まれて、勉強あるいはスポーツ、文化活動、地域の遊び、安全に遊べるような街にする意味からも、防犯カメラの増設にも引き続き力を入れてまいりたいと考えております。

次に、シティ・プロモーションの関係でございます。この間、皆様にもご協力いただきまして2カ年にわたって真田幸村博を開催してまいりました。そのほかさまざまなシティ・プロモーションも取り組んでまいりました。これらの取組もありながら、もうすぐですけども、今度の18日には天王寺区観光協議会が中心となりまして、天王寺真田幸村博「夢のまた夢」の開催につながってまいりました。こうした地域主体のシティ・プロモーションの気運をより一層

大きくできるように、天王寺蕪ですとか、6年後の聖徳太子没後1400年という節目を迎えるといった歴史的・文化的資源を活かしながら、また周辺地域と連携を図りながら天王寺区の魅力を内外に発信してまいりたいと思っております。個人的にたまに話しているんですけども、例えば大阪城が中央区にあります、それを真っすぐ下ってまいりますと天王寺区で谷町筋沿いには生魂神社、四天王寺があります。阿倍野エリアにもそのまま真っすぐ下っていきましたら有名な神社、お寺や遺跡があります。さらに南へ下りますと住吉大社までつながっております。こういった熊野街道と言われている道について何か活用できないかなど。そういったつながりのもので周辺の区とも一緒に天王寺区、周辺区、ひいては大阪市の格を上げていくような取組ができないかなと思っております。

あと快適な区役所をめざすということがございます。これは区民の方からもいろいろご要望が出されております。庁舎内の案内がわかりにくいですとか、区民センターのトイレが汚いかいというようなこともありますので、現在、案内表示や窓口への誘導の改善などの創意工夫をしながら取り組んでおります。区民センターのトイレにつきましてもリニューアル工事に向けて現在、鋭意調整を進めておりますので、予算の範囲内ではございますが頑張っていきたいなと思っております。引き続き快適な区役所づくりと来庁者サービスの向上に努めてまいります。

こうした取組を通じまして、区民の皆様とともに、この天王寺区が住んでよかったと思えるようにめざしてまいりたいと考えております。具体的な各事業の詳細につきましては、この運営方針に沿いまして事業戦略担当課長よりご説明申しあげますので、どうぞよろしく願いいたします。

○佐藤事業戦略担当課長

それでは、詳細につきまして私からご説明申しあげます。1ページめくっていただきまして、区の目標、区の使命、区運営の基本的な考え方と進んでおります。区の目標につきましては、最初にそれぞれの経営課題につながるものとして、みんなの「思い」が区政に反映されているまちです。これは区民の声の集約プロセスの強化という経営課題の機知につながってまいります。未来を担う人材が育成されているまち、日本一の文教都市の実現ということで、こちらは

経営課題2の地域特性を活かして未来を担う人材の育成に取り組み、日本一の文教地域をめざすという課題につながってまいります。また「命を守る政策」がしっかりと進められているまちということで、こちらは経営課題3の高齢者の方の見守り、要支援者に対する支援の拡充、そして命を守るということで、防災・防犯といった安全・安心に関する取組が経営課題4にもつながってまいります。また、歴史的・文化的資産を生かして多くの人が集いにぎわうまちということで、こちらにつきましては、しっかりと着実に進んできたシティ・プロモーションが展開できるよう、活動しやすい環境づくりに取り組むということで経営課題5につながってまいります。そして、こうした経営課題の1から5というものがうまくいくように、また活発になされるためにはまず地域が元気でないといけないというふうに思っております。そういうことから地域が一体となった地域課題の解決、地域活性化の取組ということで、地域活動協議会の運営を支援する経営課題6につながってまいります。こうした骨格に基づきまして来年度も区政運営を頑張ってまいりたいと思います。

引き続きまして、その下、区運営方針（素案）の策定にあたってについてですが、現段階では素案でございますが、まず28年度の運営方針の中間振り返り、今まで取り組んでいる状況のほうを振り返らせていただきまして、うまく進んでいるかどうかということをチェックいたします。中間振り返りの状況については後ほどご説明申し上げます。

区政会議でいただいたご意見、第1回区政会議でグループ討議なんかも含めて皆さまからいろんなご意見いただきました。そういったご意見は運営方針の随所に反映させていただいております。次ページ以降の資料で星マークがついていますのがご意見を反映している事業です。またPD“L”CAサイクルの徹底ということで、全事業について区民の皆さんのご意見を踏まえて事業の方向性、拡大、継続、縮小、そういった判断に統一的に活用して運営方針の素案が出来上がっております。

1枚めくっていただきまして4ページ上段でございます。PD“L”CAサイクルということですけど、PDCAサイクルというのは皆さんよく聞いたことがあると思うのですが、そこに“L=Listen（聴取）”という区民の皆さんのお声を聴取することを取り入れるという

天王寺区独自の取組でございます。一昨年度から始めさせていただきまして、今年度も予算の策定にあたって事業の方向性を判断する上で区民モニターの指標を活用させていただきました。全事業の詳細につきましては参考資料③に事業の拡大、継続、縮小の方向性を示させていただいております。そこでは予算の増減と一致するものではないケースもございますので、予算の方向性というところの欄を追記させていただきまして、予算は縮小しているけれども、事業の創意工夫で拡大、予算はそのままだけれども事業内容は見直しで頑張るといような方向性がわかるような資料になっております。代表的なものは、こちらの概要版のページで経営課題ごとにご説明をさせていただきますが、審議にあたっては資料③のほうもご参照ください。

それでは、経営課題1にまいります。区民の声集約プロセスの強化ということで、あなたの声をつなげ隊による区民意見の聴取でございます。PD“L”CAサイクルという言葉からわかりますように、“L”は天王寺区政の要になってくるところかと思っております。区政運営にかかる意見や評価をいただくために、区民の声集約チーム「あなたの声をつなげ隊」のメンバーが区民に直接意見聴取をしております。区政会議も含めて区民の声を聴取する手法として非常に大切に考えておりますので、こちらも引き続き頑張りたいと考えております。前回のご意見ではつなげ隊は発足当初よく見かけたけれども最近はある見かけられないというご意見もいただいております。少しでも皆さんに活動が映るように、スーパーの店頭であるとか、公園であるとか、また時間帯なんかも工夫しながら取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、区政運営の見える化を意識した情報発信の強化についてでございます。前回の区政会議意見では、いろんなよい取組をしているけれどもなかなか伝わってないという課題認識をいただきました。情報発信が足りない、よい事業を発信することを事業として取り組むべきだということで、私ども広報では情報発信には大変力を入れていきたいと思っております。区広報紙、広報板、ホームページを活用して聴取した意見が区政への反映状況について見える化を意識しながら、わかりやすく区民の皆様が必要とする情報を発信してまいりたいと思っております。具体的には、枠内に掲載のような取組をしておりますが、今現在、LINE@といたしまし

て、今、利用者が大変多いラインの活用なんかも企画中でございますので、さまざまな方にいろんな形で情報を伝えるツールも増やしていきながら、事業を紹介していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

次に、経営課題の2「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用についてでございます。まずグローバル人材の育成ということで、こちらについては前回区政会議の意見で英語が苦手な子どもも含めて底上げを図るべきだと、大変貴重なご意見をいただきました。区民モニターの結果では、拡大と継続のご意見というのは54%で、指標とする60%を切ってはいますが、今後グローバル社会ということで、子どもたちにとって英語というのは必ず必要になってくると思っております。英語に親しんで、英語で臆さずに海外の方たちとコミュニケーションを取れるといった人材を育成するために、そこには力を入れていきたいというふうに思っております。そこで英対話講座ということで、中学生を対象に英対話力を向上させる講座を開催いたします。これまでのディベートスクールと異なる点としては、より裾野を広げるという観点から、通年の少人数だけでということではなくて、各回講座では英語に親しむ、それをもとにいろんなコミュニケーションを臆せずにとるということを主眼にプログラム内容を見直して取り組んでいきたいと思っております。また英語体験活動は先般行われた‘Let’s enjoy English’ということで小学生向けの講座でございます。小学生が留学生なんかと英語を使いながら遊んだり、クリスマスの飾りをつくったりということで、これは大変好評ということもありましたので、来年度は開催回数と定員を増やして実施したいというふうに思っております。

次に、子どもの将来のための投資の促進ということで、子育てスタート応援事業を行います。子育て世帯が多いという天王寺区に因んだ事業であると思っております。これにつきましては、区民モニターの経過から拡大・継続がおおむね60%ということもございまして、よりサービスを拡充して子育て層が使いやすいようサービス拡充を図りながら、続けてまいりたいと考えております。

次に、経営課題3でございます。お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉ということで、

代表的な事業としては独居高齢者等見守りサポーター事業、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業でございます。こちらにつきましては、拡大・継続を求めるとご意見の合計が67%と7割近くに上っております。命を守る取組については、私どもも非常に重要だと思っておりますので、強力に進めていきたいと考えております。

次のページをお願いいたします。経営課題3の続きとなりますけれども、こちらは新規拡大ということになっております。健康のための取組の強化ということで、まず区政会議意見としましては、がん検診についてももう少し受診できるように周知・徹底できないかという意見、去年のこの時期の会議であったと思います。そのときにご意見いただいておりますが、女性の間で乳ガンが話題となるなど意識も高まっているこういった時期に力を入れていく必要があるのかなと考えております。また、がん検診につきましては、拡大・継続が72%ということ及び認知度も含めて非常に高かったということで、こちらは拡大して取り組むべきということから、広報紙でも特集に加えて四半期ごとに受診呼びかけのポスターを区広報板、チラシを医療機関、関係団体に配付することによって、より受診の勧奨に力を入れてまいりたいと思っております。また、②の新規となっている分なんですけれども、これはあなたの声をつなげ隊のメンバーが、地域で聞き取ってきたご意見から出てきたものでございます。いきいき百歳体操であるとか、ももてん体操であるとか、高齢者が気軽に参加できる健康増進の取組があったらいいということでご意見をいただきまして、介護予防や健康増進の観点から、ももてん体操、いきいき百歳体操を区民に普及する拠点づくりを支援してまいりたいと考えております。

引き続きまして、安全・安心の取組でございます。経営課題4でございます。まず防災の取組としましては、事前の備えということで減災のための取組の強化でございます。まず区政会議からのご意見としましては、第1回会議においてマンションなんかよりも古い戸建て住宅の集積している地域のほうがそういった家具固定はされていないから啓発が必要なのではないかというご意見をいただきました。また、モニターの結果では、防災に関する出前講座、区民巻き込みオペレーションは、拡大・継続がおおむね6割ということで、また地域防災計画の策定のほうも61%ということで、防災意識というのは非常に皆さん高くお持ちだと考えております

ので、引き続き継続してまいりたいと考えております。

また減災のための取組の強化ということで被災後の備えになります。地域資源との新たなつながりを生かした防災の取組ということで、区政会議の中でも最も議論されていたかなと記憶しております。防災を切り口にマンション住民に対して、またはマンション住民と地域のつながりなど接点をとっていけないとか、命を守る取組を通じて地域をつないでいけないかというふうなご意見であったと思っております。先ほど区長からも最も力を入れていきたいんだというふうに説明がございましたとおり、天王寺区はこの取組が最も大切になってくるのかなということで新規・拡大ということで取り組んでまいりたいと思っております。マンション防災学習会を今年度開催いたしまして大変好評でございました。来年度につきましては、個々のマンションについて課題に合わせた個別支援を行ってまいりたいと考えております。また、被災に備えては医薬品等を循環備蓄（ローリング・ストック）という考え方で、これを薬剤師会・病院等の地域の方々のご協力を得ながら実施してまいりたい、医薬品については消費期限がきってしまうという課題がありますので、ずっと置いておけないということでこういった取組が大事になってくると認識しております。

また寺社の協力により一時避難場所を拡充するとともに、災害時協力企業・事業所登録制度を開始し、これまで防災等で縁のなかったところと新たなつながりをつくりながら、地域ぐるみで防災力の向上というのを図ってまいりたいと考えております。災害時避難所の備蓄品を充実するとともに福祉避難所の追加指定にも取り組んでまいりたいと考えております。

次のページにまいります、経営課題4の引き続きということになりますけれども、子どもの安全・安心ということで防犯カメラの公設置についてございます。こちらも引き続き25台を増設ということで拡大してまいりたいと思っております。平成27年度までに50台、平成28年度にも25台設置見込みで累計75台を設置ということになり、平成29年度には25台を設置ということで、これで100台の公設置になると考えております。区政会議からも防犯への取組についてのご意見、またモニター結果でもつなげ隊アンケートについても子どもたちの安全・安心で抑止効果もあるということで、防犯カメラの設置に関しては肯定的なご意見を

多くいただいているところです。

また、安全・安心の確保ですけれども、迷惑駐輪の防止、自転車マナーの啓発の取組でございます。こちらに関しましては、「D o !プラン」の取組であるとか、放置自転車の撤去及び駐輪場の増設等の取組について、建設局とも協力しながら取り組んでまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

次に、戦略的なシティ・プロモーションの推進ということで、天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業についてでございます。NHKの大河ドラマの放映も終了いたします。区長からもございましたように、地域主体のシティ・プロモーションによって、この週末にもイベントが地域主体で実施されます。天王寺区の歴史的・文化的資産というのはたくさんあるのかなと思っております。引き続き、地域住民、地域団体、企業等が主体的に行う、魅力発信につながる取組について、後方支援等を行いながら強力に支援をしてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

次のページにまいります、経営課題6 大きな公共を担う活力ある地域づくりということでございます。地域活動協議会を核とした自立した地域運営の支援、中間支援組織の活用ということで、こちらにつきましては、防災のことを中心に行政と地域とマンション住民をつなぐという接点を探ってみてはどうかというご意見をいただいております。身近なご近所のコミュニティということが、こういった地域活動の一番基本になってきて、それがだんだん膨らんで地域活動協議会のような取組が活発になっていけばというふうに思っております。モニター結果では、拡大・継続というのは地域活動協議会の認知度も含めて、やや6割を下回る結果となってしまったところですが、地域の活性化と自律した運営には必ず必要になってくるものだというふうに考えておりますので、来年度も引き続き力を入れてまいりたいと考えております。経営課題6までは以上でございます。

運営方針の策定の今後のスケジュールでございますけれども、本日、区政会議で素案を議論いただきまして、1月下旬には運営方針の案を公表予定でございます。3月に市会の審議等経た上で4月上旬に運営方針を確定して公表してまいりたいと思います。平成29年度も頑張

ってまいりますので、よろしく願いいたします。

次のページについておりますのは、第1回会議でいただいたご意見につきまして、こちらの概要版ではご紹介できなかったもの、これに対しての区の対応状況・対応方針について記載させていただきますので、ご一読ください。お願いいたします。

続きまして、資料2にまいります。資料2のほうは先ほど申しあげておりました中間的な振り返りでございます。実際の中間振り返りは参考資料②という非常に太い冊子のほうになり、8月時点での振り返りということになっておりまして、現在はそれから随分時期も経っておりますので、今の状況ということで取り組み状況のほうをご説明申しあげたいと思っております。このA3横長の資料をごらんくださいませ。

区政会議の開催と意見・評価の反映でございますが、開催回数は計画目標2回、本日2回目を開催させていただいております。区民モニター（区政評価員）の活用ということで、3回の取組目標に対しまして3回実施の予定であります。回答数を今後上げるために来年度に関しましては、2000名を対象に、できるだけ多くの意見を取りたいというふうに考えております。次にあなたの声をつなげ隊による意見の聴取です。目標としましては、2テーマ以上2,000件ということですが、現在の状況で7テーマ以上、2,200件以上の聴取ができる見込みでございます。こうしたご意見というのも施策に反映させていきたいと考えております。また広報媒体を活用した区長による情報発信でございますけれども、広報紙で区民の声の反映事例の特集を行い、また広報板にはそういった反映状況をご紹介するということを取組内容として掲げておりました。10月号におきまして、区政会議でいただいたご意見の特集号をさせていただいたのと、あと12月号で区民の声特集ということで、会議の様子なんかのお写真も掲載させていただいております。また区民の声の反映事例といたしましては、今現在は各広報板に「天王寺、やるやん！」というふうに書かせていただきまして、そこに災害のときどうしたらいいのということで、家具の転倒に気をつけてください。家具が転倒しないように必ず転倒防止器具をしてくださいということで掲載させていただいております。今後、庁舎の改善ですとか、防犯カメラの増設、子育てアプリ「ぎゅっと!」、自転車マナーの向上など、皆様から

のご意見が多かったもので改善に取り組めたものを順次ご紹介していきたいと思っておりますので、ぜひ広報板のほうもご覧になっていただければと思います。

次に、同じく経営課題1の中で、区民に身近な区役所ということで、総合窓口の充実、安心・安全の拠点づくりということでございます。まず、区民の皆様の一番近い行政窓口が区役所だということで、区民からいただいたご意見、それに対しての対応方針というものを随時公開しようということで、そちらについては現在ホームページで公開中でございます。また、職員自身がいざというときのために避難訓練・防災訓練に慣れてないといけないということで、これは目標に対してそれぞれ実施済でございます。

引き続きまして、改革を担い支え合える職員づくり、人材マネジメントということで、こちらには市政改革プラン2.0にも引き続き職員の資質の向上というところで触れられております。皆様に満足のいく行政サービスの提供のためには職員の資質の向上というのは非常に大事なことでございまして、取組としては職員塾の開催を掲げております。4回以上に対して5回開催予定でございます。

また、先ほど区長のほうからも説明ありました、快適に利用できる区役所の追求ということで、接遇研修を実施しまして、接遇の改善、来てよかった、相談してよかったと思える窓口をめざしております。また設備の改修にも随時取り組んでおりまして、各窓口に杖置きですとか、老眼鏡も置かせていただいております。1階の待合ソファへの手すりの設置によって立ち上がる時に少し楽になったのではないかなというふうに思っております。

次に経営課題2でございます。「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用ということで、まずは、グローバル人材の育成、英語ディベートスクールと英語体験活動でございます。こちらいずれも事業の方は実施中ではございますけれども、それぞれ掲載の回数を実施する見込みでございます。

またイノベーション人材の育成ということで、中高生インターンシップやレジェンド・イン・ハイスクール事業に取り組んでまいりました。インターンシップにつきましては、非常に参加者の満足度が高いということで、8月に14名参加された中では100%満足だということ

とで評価をいただきました。レジェンド・イン・ハイスクールにつきましては、今、各学校でバレーボールとバスケットボールのクラブ活動の指導をさせていただいております。アンケートはクラブ活動終了時の3月ということになっておりますが、非常に好評をいただいているところです。こちらにつきましては、来年度は一旦、区事業としては終了ということに資料3ではなっているわけですが、今度は新たに教育事業として、各学校のクラブ活動を指導・支援できるような指導者を学校のニーズに応じて、前の区政会議の意見でもスポーツだけじゃなくてもっと文系とかいろんな分野がいいんじゃないのかなというようなご意見もあったかと思いますが、そういったものに衣がえして再構築して継続してまいりたいと考えております。

次に、次世代の地域担い手の育成ということでございます。ジュニアクラブの取組でございます。これは幅広い世代の方が参加できて、かつ幼いころからボランティアであるとか、地域活動の一助になるような非常に重要な取組であると考えております。ジュニアクラブの活動は、計画目標として5回、実施の見込みとしても5回になっております。1月と3月にも活動を実施する予定になっておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、子どもの将来のための投資の促進ということで、子育てスタート応援事業でございます。現在、実施中でして、10月末での人数ベースの利用率が7割を超えてまいりました。

次は、子育て世帯の支援体制の充実ということで、子育て情報アプリ「ぎゅっと！」と子育て情報博覧会の取組でございます。情報アプリ「ぎゅっと！」のダウンロードにつきましては、現在、随時更新しているところでございますけれども、おかげさまで2,000件を超えました。今後は利用者の満足度を高めるように、情報更新の頻度を高めるとともに、情報の充実に取り組んでまいります。また、子育て情報博覧会は、先般8月に実施させていただいたところですが、参加者の満足度は94%ということで大変好評をいただいております。

次に、保育サービスの充実ということで、待機児童ゼロをめざして保育所の開設の働きかけを区としても行っているわけでございますけれども、こちらに関しましては、随時働きかけを行い、(仮称)真田山かいせい保育園、定員80名が平成29年4月に開園予定、また(仮称)キッズパレスも定員19名で、小規模事業保育所でございますけれども、平成29年4月

に開園の予定になっております。

次のページめくっていただきまして、独居高齢者等の見守りサポーターについてでございます。見守り希望者に対して月1回程度訪問する取組でございます。現在、目標6地域中6地域で継続実施しております。

また、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業ですけれども、順次、同意確認を行ってございます。400人以上をめざしておおむね400人程度の同意がとれるのではないかなと思っております。

また、下寺町の交通手段確保事業でございます。こちらについて、タクシーの利用助成をしておりますけれども、現在、継続実施中でございます。

次に、経営課題4で防災・防犯関係の部分でございます。まず、区民巻き込みオペレーション、出前講座でございます。実施回数については12回の目標に対しまして20回の予定、11月までに既に14回実施しております。

また、災害対策情報の発信ということで、こちらは広報紙のほうで8月に必ず特集号を組んでおります。こちらも実施済でございます。

家具転倒防止器具の取付啓発事業ということで、こちらにつきましては、掲載のとおり取付の啓発を図るということで出前講座での周知であるとか、マンション向けの周知というものに力を入れてまいりました。下段、6階以上の分譲マンション100棟に働きかけまして、応答のあった34棟に対して周知を行いました。先般の学習会にも40弱のマンション管理組合に参加いただきまして、そのうち21の管理組合からは引き続き出前講座とかそういった個別支援を期待するというようなご意見もいただいておりますので、着実に進められていると認識しております。

次に、地域防災計画の策定ですが、3地域のところ4地域で策定できそうだということで、今年度末で累計7地域について策定完了の見込みで、こちらも順調に推移しております。平成29年3月には概要版を戸別に配付する予定でございます。

次に、マンション被災生活の支援ということで、これが先ほど申しあげました学習会の開催

でございます。11月19日に実施させていただきました。

また、防災拠点の充実ということで、災害用備蓄物品の確保ですが、こちらは調達の手続中でございます。

2-3避難行動要支援者支援体制の構築ということで、区内全地域で支援計画は策定済となりました。こちらも順調に進捗しております。

次に、子どもの安全・安心の確保ということで、防犯カメラの設置、25台の予定のところ、掲載のとおり25台を2月までに設置予定で、そのスケジュールで取り組んでおります。

誰もが安心して通行できるということで、自転車マナーの啓発の取組でございますけれども、自転車の適正利用を呼びかける「D o ! プラン」について2駅の開催予定で、2駅で開催します。寺田町駅と桃谷駅で実施しております。

最後のページにまいりました。天王寺のまちのブランド力の強化ということで、効果的なシティ・プロモーションの推進についてでございます。イメージポスターを作成・配布をするところですが、今現在、取り組んでおるところでございます。ポスターの作成中の段階でございます。

次に、大きな公共を担う活力ある地域社会づくりということで、まずコミュニティの実現ということで、人と人とのつながりづくりの促進ということで、いろんな地域活動のご紹介ですね、広報紙により毎月、各地域活動協議会の地域での取組状況なんかを紹介させていただいております。またホームページにより随時情報更新させていただいております。

また、多様な主体の協働、マルチパートナーシップということで、地域活動協議会を核とした自律した地域運営の支援ということで、こちらについては9地域中9地域の支援を行い、公金の使途等について公表を行いました。情報発信等の取組支援というのも継続して実施しております。

また、校区等区域を超えた多様な主体のネットワークの拡充ということで、まちづくり活動のご紹介です。区のホームページで掲載件数のとおりご紹介しております。

次に、地域資源の循環ということで、コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスと言われ

るものでございます。社会的ビジネス化の推進ということで、こちらは皆様の協力を得まして、目標5件中5件、公園であるとか駅前の自転車駐輪対策にご協力いただいて実施しております。

また、地域公共人材の充実と中間支援機能の活用ということで、こちらについては情報交換会なんかで地域公共人材、ファシリテーターとか呼ばれる方たちですけれども、意見交換会、情報交換会を行っております。

また、中間支援組織につきましては、現在も各地域活動協議会の具体的な取組を支援させていただいているところです。

この11月の時点での中間的な振返りは以上でございます。少し説明が長くなってしまい申し訳ありませんでした。説明につきましては、この資料1及び2を中心に行ったところがございますけれども、審議に際しましては、参考資料①、②、③を参考に合わせてご審議いただけたらと思います。また、市政改革プラン2.0も盛り込まれているということで、その概要版というのも参考資料④としてつけさせていただいておりますので合わせてご参照ください。それでは栗谷議長よろしく願いいたします。

○栗谷議長

西山区長、佐藤課長様ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問を皆様をお願いしたいと思います。発言される方は挙手をお願いいたします。それではよろしく願いいたします。

越村委員、お願いします。

○越村委員

ちょっと細かい話かもしれないんですけど、経営課題3なんですけども、お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉ということで挙げられています。ちょっとこの時代に「お年寄り」という文言をなぜ使っておられるのかというのがちょっと気になって、全部の課題がそういう丸い表現だったらいいんですけど、これだけがそうでほかは割と普通の表現なんです。文章の中とかは全部高齢者という形で書いてあるんですけど、ちょっと何かこの「お年寄り」という

言い方、この時代どうなのかというのがちょっと感じた言葉です。

あと、もう一点なんですけれども、いろいろ福祉のことであるとか、安全・安心のことというの、すごくいろいろ取組を考えられておられるんですけれども、もっと昔からそうなんですけど、国としてどの地域でも地域福祉計画のようなものをつくって、ばらばらするのではなくて、ある1つの柱をつくってそういう関連のものを進めるということもやっておられて、よその区でも進んでるという話を耳に挟んだりしてるんですけれども、これを見てると、防災計画とかは挙がってるんですけども、その辺の福祉計画の文言が全然見られないんです。その辺はこういうふうに進んでいるところなのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○西山区長

経営課題3の「お年寄り」という表現なんですけども、確かに私も今気づきました。変えてまいります。

○朝川副区長

それから福祉の関係なんですけども、天王寺区では地域福祉アクションプランということで、これまでも地域の方に参加いただいて3年ごとに更新している状況もありますので、そのあたりは現に皆さんにご協議いただいて取り組んでいるところですので、どういう形で反映できるかというのはちょっと検討していきたいと思います。ありがとうございます。

○栗谷議長

私のほうから1つ、経営課題4の続きの防犯カメラのことでちょっとお願いしたいと思うんですけれども、現在、私、大阪教育大学附属高等学校の天王寺校舎のPTA会長を仰せつかっているのですが、うちの学生で正門から出て天王寺の方向に塾に通うというのがたくさんいます。大道5丁目に大道教会というキリスト教会がございまして、そちらのほうから学校の外側を直線で東西に運ぶ天王寺バイパスのほうに抜ける道があるんですけれども、そちらで最近痴漢が多発しておりまして、最近では女子高生が歩いているところから、後ろから自転車で走ってきまして下半身を触って逃げるといったのがありました。防犯カメラもつけていただくのも1つの方法なんですけれども、やはり目につく電柱等に防犯カメラ設置というステッカーなどを貼っ

ていただいて、ここにはこういう防犯カメラがなくても防犯カメラがあるんだよというそういう抑止力みたいなものをしていただければ、これはあまり予算もかからないと思いますので、実際カメラをつけるには高価なものだと思うんですが、そういうステッカーを貼っていただいて、ここはこういうふうに見ているんだよというそういう印とか示しというものをしていただきましたら、女子高生のほうも、特に最近夜5時にはもう日が暮れてまいりますので、子どもたちの安全のために1つご提案というか、よろしく願いいたします。

○西山区長

ありがとうございます。防犯カメラの設置目的なんですけども、主な目的としましては記録を残す、これも大事なんですけど、要は啓発というか、ここでカメラ回ってますよという抑止効果が重要であって我々も取り組んでいるところです。ですから、実際に設置されているカメラの下につきましては「防犯カメラ作動中」というのが目につくような表示をさせていただいています。今回、公設置で100台なんですけれども、それまで地元の方々が道路につけていただいているとかいう防犯カメラがまだまだございますし、特にこの100台につきましては小学校とか学校の入り口付近を見張ってもらうというつけ方をしています。一方で建設局が公園の出入り口、死角になるようなところ、それも並行して局としてつけていただいていますのでかなりの基数入っているのかなと。議長がおっしゃられたように、必ず目につくところにはカメラ回ってますよというのを抑止効果としてつけていきたいと思います。

○栗谷議長

飛田委員、お願いします。

○飛田委員

飛田です。経営課題2についてなんですが、日本一の文教『都市』」をめざした人材育成と書いてあるんですけども、実際、前々から天王寺区で問題になっているのは定住率が低い。要は小学校くらいまでは皆さんここへ引っ越してきて住んでおられるんですけど、だいたい受験が終わると引っ越される方がすごく多くてその辺の施策をそろそろ考えておかないと、一生懸命育てても中学校もしくは高校へ行ったときに引っ越して行かれる家庭が多いように見受けら

れます。多分、文教地区というのは受験のために天王寺区へ引っ越してくる方というのはすごく多くて、その辺を考えておかないと一生懸命子どもたち育てても、結局、みんな巣立って行ってしまって、戻ってくればいいんですけど戻ってこないという状態だと何か寂しい気がするので、そこを考えてほしいなというふうに思います。

○朝川副区長

おっしゃるとおりですね、まだ我々もつぶさにデータとかで分析したことないんですけども、もともと天王寺区は医療機関もたくさんありますし、交通機関も発達しておりますので、非常に魅力のあるところだと我々は思っているんですけども、さらに出て行った方々がどういうことを求めて出て行かれるのか、そのあたりを今後研究などして少しでも定住率を高めることは考えていきたいとしますので、逆に、こういったところをもうちょっとやったらいいんだよとかあればまた教えていただきたいとします。やっぱり西山区長もこれから安心・安全を特に力を入れていきたいと言っておりまして、そのあたり皆さんにお住まいいただく上では一番ベーシックなところだと思いますので、まずはこのあたりをきちんとしていきたいとしますし、何かご意見あればぜひ賜りたいとします。よろしくをお願いします。

○栗谷議長

南委員、お願いいたします。

○南委員

経営課題4で、災害のことなんですけども、私、真田山地域なんですけど、これ毎回毎回言ってるんですけども、避難場所は、清水谷高校、高津中学、真田山小学校、真田山公園、一応たくさんあるんですけども、実際、僕が行ったのは真田山小学校で1回やらさせてもらって、あと何回かやられたんですかね、僕自身あまり広報見てなくてすみませんけども、真田山地域に関してどうなんでしょうか。

○大垣危機管理課長

危機管理課長大垣でございます。おっしゃるとおり小学校のほかには高津中学でさせていただいております、加えまして、今後まだできてないところもございますから、来年度以降も

次々と新しいところでやってみるというふうに進めてまいりたいと考えております。

○南委員

それで真田山小学校のときに実際初めてやったときに、僕自身はウエルカムやと思ったんですよ。それで真田山小学校も避難の練習や言うて、避難、基本的にそこまで行くわけですよ。そうじゃなしに高津高校やったら高津高校の地域の間人は近くの避難場所行きますやんか。清水谷やったら清水谷高校の避難場所の近くの方々だけでもやってもらったほうがええんちゃうかと思う。初め真田山小学校行ったときに、テーブルずらっと並んで、あなたどこから来たんですか、あなたどこから来たんですか、あなたどこから来たんですか、そんなん実際やったとき絶対無理やと思うんですけども、一応初めてのときやから、あなたはどこの地域の方、皆さん連れてきてくださいという感じで1回目のときはやったんですよ。高津中学のときはどういふふうな感じでやられたか僕はわかりませんが、それは煙とか何かのときですか、また完全な避難訓練されたんですか。

○大垣危機管理課長

昨年度に高津中学でさせていただいたときは、いわゆる避難所開設運営訓練という正式な訓練を地域の皆さんとしていただきました。その際にもおっしゃるとおり、いわゆる近隣の中学校の範囲の町会さんにメインに運営の役を担っていただきまして、当然、真田山全域もお声かけさせていただいておりますけれども、当該の3つほどの町会やと思いますけれども、運営委員長を含めて主な役割を担っていただいて中心にやっていただいたということですので、今後も、いろいろ、その施設、施設、避難所、避難所の近いところの皆さん方が中心になってやっていただきたいというふうに思っております。

○南委員

それで、そのときに実際真田山小学校の向かいには味原小学校ってあるんですよ。やったときに味原校区の子がぱっと来たときに、いや、君ちゃうでという感じの考え方が基本的にあるわけよ。真田山校区エリアってやっぱりあるんかね、そういうところの対策とか、そういうのは初めてのときやったから混乱しとったから、実際2回目、3回目とやられとったらどうなん

かなと僕自身わからないのでお聞きしたいんです。

○大垣危機管理課長

今おっしゃっていただいたご意見もそのとおりだと思っております、特に先日も府立夕陽丘高校でこれも初めての体験でさせていただいたんですけれども、その際も、地域あるいは連合の境目にあるようなところがございましたので、メインは五条地域やっていただきましたけれども、桃陽連合の2町会からも一緒にご参加をいただいたというふうなことで、年々、工夫もいろいろ考えながらさせていただき、今いただいたご意見は我々も同感だということさせていただいております。どうぞよろしく申し上げます。

○栗谷議長

出村委員、お願いいたします。

○出村委員

情報発信の1つとして、あなたの声をつなげ隊というのは、これ確か4、5年前に天王寺区独自で18人でスタートしたんじゃないかと記憶しておるんですけど、これは私いろいろそれからずっと活動見させていただいて、その中で、特に地域の食事サービスとか、ふれあい喫茶とか、子育て支援など非常に積極的にサポートをされてるなど、これは私も見てて天王寺区の自慢の1つじゃないかと常に思っております。ほかの区であるのかどうか知らんですけどね、ただ、今のところは具体的に言いましたら、お母さん方の乳母車の管理とか、だいたい外回りで応援してやっているわけです。本当はもっと具体的に言いましたら、中に入って、ふれあい喫茶とか、子育て支援の中でそういう何かの事例を直に話してやるような機会があれば皆参加されてる人が天王寺にはいろんなことやっていただいてこんなことがあるんやなとよくわかりますので、これは1つ自慢としてPRしていただいたらもっともっと天王寺区の独自性が出るこのように思っております。

○西山区長

ありがとうございます。非常に貴重なご意見だと思います。確かに、つなげ隊、ほかの区ではございません。我々基本としてパトロールを行い、区民の方の意見も聞きながらとかふれあ

い喫茶とかそういう場のお手伝いもさせていただいています。確かに中へ入って、この地域でこういうことがあったんだよ、気をつけたほうがいいよとか、そういう実話集ですね、そういうのもいいアイデアやと思いますので、これからどんどんやっていきたいと思います。ありがとうございます。

○栗谷議長

出水委員、お願いいたします。

○出水委員

経営課題4なんですけれども、減災のための取組というか、地域資源との新たなつながりというふうに明記されてると思うんですけれども、地震なりの災害というのは今非常に皆さん関心が高い中だと思っております。なので、地域資源、いろんなところと連携をするというのはもちろん大事だと思います。ただ、いろんな防災訓練に行かせていただくと、同じようなメンバーでされているというのは非常に大変なことをなさってるのは重々わかっているんですけれども、参加されている方についてはある程度固まっているというのが状況かなと、実際そうなるのかなというふうには思います。

いろんな地域で、さまざまな世代がいろんなことを考えて動こうとしています。そこは町会もそうですし、地活協もそうですし、区役所はもっとそうだと思うんですけれども、それを受けとめる窓口はしっかり開けていただきたいなというふうに思います。そういう意見があって、いろいろ変わっていった初めて防災につながっていくと思っています。災害を完全に防ぐというのはまず無理だと思うんですけれども、いろんな声を聞いて少しでも新しいものに変えていくというためには、やはり地域資源というところで地域の新しいいろんな資格を持っている人間、スキルを持っている人間がたくさんいると思うので、そことのつながりというのを明記されてそういう動きをしていただければ地域としてもありがたいかなというふうに思っております。

○西山区長

ありがとうございます。先ほど大垣課長からもご説明いたしましたけども、新しい場所、新

しい場所で回を重ねて訓練を続けていきます。前のときどうやったから次これを変えていかなあかんとかいう意見もちろんありますし、企画の組み立て段階から地域の人にも入っていただいて、この地域の特性がどうだとかいろんな意見交換しながら、じゃあこういう訓練しましょうとかいう立て方をしてきています。だから、私も何回か参加しましたが、だんだんちよつとずつでもよくなっていけるし、そのときにここ悪かったねとかいう声が出てくれば、それは必ず反映させてもらおうかなと思ってますので、どんどんブラッシュアップしていくかなと思ってます。よろしくお願いします。

○朝川副区長

それと地域資源の関係で、我々がこれまで必ずしも十分連携できていなかったのが、区内にはいろんな企業とか事業所とかございますので、これからそれぞれの企業や事業所の強み、例えばいざいうときに何か資器材を提供することができる、あるいは場所を提供することができるというのがきつとあると思いますので、これからもそういった方々にご協力いただけるよう役所のほうからも働きかけていって、それでこれまでの地域の方々の活動に加えて、そういったそれぞれの地域資源の強みも生かせるような取組をこれから進めていきたいと思っております。

○栗谷議長

神崎委員、よろしくお願いします。

○神崎委員

神崎と申します。防犯カメラなんですけども、これはカメラあれば相当いいなというふうに思っています。25台設置されたというところなんですけども、去年の区政会議でも防犯カメラの話が出たときに、例えば民間の企業の協賛を得ることによってもっと台数が増やせるではないかというふうな議論が出た記憶があるんですけども、例えばこういった設備関係、防犯カメラにしる、家具が倒れるような、防ぐような器具というんですかね、そういったものというのは企業の協賛を得れるようなもんだと僕は思ってるんですけども、区としてそういう企業の協賛を取り込むような方法でそういう設備を増やすというふうな考え方を持っていらっしゃる

のかどうかをお聞きしたいなと思います。

○朝川副区長

先ほどお答えいたしました話とも関連するんですけれども、幅広く、天王寺区内の企業様にご協力を求めていくのは防災分野に限らず、天王寺区政、地域のために何かご協力いただけるようなところを幅広く呼びかけていくことを、この前のご意見も踏まえてちょうど考えているところでございまして、近々にそのあたり具体的な姿が見えるようにしていきたいと思っております。その中でご協力いただける分野において、今神崎委員がおっしゃっていただいたようにカメラの増設でありますとか、家具転倒防止器具に限らず活用できるような仕組みを、ぜひ近々に、まずは枠組みをつくっていききたいと思っております。その上で幅広く皆様にもご協力を呼びかけていきまして、本当に多くの方々によって支えていただける天王寺区の街が実現できるようにしていきたいと思っております。当然まず行政としてしっかりやるべきことは引き続きさせていただきます。

○栗谷議長

平田委員、お願いします。

○平田委員

平田と申します。経営課題2の保育サービス充実のところなんですけれども、日々変わりますのであれなんですけれども、新しく保育所の開設を予定していただいているようですけど、今の平成28年度でどのぐらい待機児童おいでになるか教えていただけますか。

○朝川副区長

直近は10月1日現在で公表しているんですけれども、29名でございまして。ただ、もともと利用申し込みをされていて入れていない方というのはそれよりも大きい数なんですけれども、それは国全体の待機児童の考え方によるということで、29名ということなんですけれども、この間、毎年毎年、我々も働きかけて保育所の整備をこども青少年局でしていただいております。来年の4月の、先ほど話がありましたとおり、餌差町のほうで80名の定員の保育所、それと南河堀町で19名の定員の保育所ができるんですが、整備されればされるほどニーズが

高まっていく傾向がありますので、来年度以降もしっかり大阪市として整備ができるように引き続きこども青少年局のほうには働きかけていきたいと思っております。

○平田委員

ありがとうございます。よろしく申し上げます。

○栗谷議長

原田委員、お願いいたします。

○原田照久委員

この配付資料の中の基本的なことなんですけれども、PD“L”CAという住民の方のいろんな意見を聞くという中で、冒頭にあるサイレントマジョリティーの声を集約し把握すると、言葉で言うと非常にわかりやすいんですけど、果たしてこのサイレントマジョリティーの意見というのはどうやって把握するのかと。その中であなたの声をつなげ隊、こういうふうな活動の中で直接区民の意見を聞いて、それをモニター件数ですか、あらわしてそれぞれの政策に対して継続したほうがいいのか、拡大したほうがいいのか、そういうふうな数値を出しているんですかね。サイレントマジョリティーの意見というのは、例えばイベントとかそういうところに出てこられない人というのが本当のサイレントマジョリティーじゃないかなと、出てこられる人は自分の意見を言ってるんじゃないかなというふうに思うんですよね。そのモニター件数というのはどのぐらいの数字なのかというのをちょっと教えてほしいと思います。それが、この資料2のあなたの声をつなげ隊という区民意見のここに件数が書いてますけど、これがその数値なんですかね、ちょっと教えていただければと思います。

○佐藤事業戦略担当課長

区民モニターというのは、あなたの声につなげ隊とはまた別でして、世論調査と同じように無作為抽出をさせていただいた区民の方1,500人に対してアンケートのような形で書面でご意見を求めます。天王寺区の場合は、主要26事業の認知度と今後の事業の方向性、どんな形がいいですかというのを事業内容の実施状況であるとかそういったものがわかる資料と合わせて皆さんにお送りをしている、それが1,500人なんですけど、なかなか回答率というのが、

高いものをめざしているんですけども、なかなかご回答が少ないということで、今年度につきましては第1回目300人ほどにとどまっております。統計数値としてサンプルとしては400名を確保したいということで、サンプルを400名とるとそれが大きな意見を小さく集約して、かつ方向性としても変わらないという数値だということでお聞きしておりますので、来年度は400名確保できるように、そもそもの最初の抽出件数を1,500件から2,000件に増やそうというふうに思っています。そういったご意見については、公園であるとかイベントに出てくる方以上に、普段はお勤め等をされていて日常はつなげ隊の意見聴取にも接点のない方に書面として届いていますので、そういった方のお声なんかもできるだけ拾っていきたいということで、区民モニターで得られた意見の方向性、つなげ隊で得られた意見の方向性、そして、こういった区政会議の中でいただく意見の方向性が大きく合致しているというのが、一番、最大公約数になって我々区役所としても力を入れていくべきところなのかなと考えております。以上です。

○原田照久委員

わかりました。知りたかったのは、果たしてその数値が信頼できるものなのかというのは、やっぱり相当数の数がないと、単にそれによってステップ1、ステップ2で政策を継続してやるのか、やめるのかというそういう判断基準にもなってるようなので、その絶対数をちょっと知りたかっただけなんです。ありがとうございました。

○小野議長

私、生玉連合の小野と申します。区の運営方針でちょっとご意見申しあげたいと思います。防犯のほうは、いろいろ各連合で訓練もされているし、非常に充実しています。ここに中野会長おられるからそういったしっかりした方がいらっしゃる以上は心配ないと思いますけど、ちょっと交通のほうで気になることがあります。なぜなら、谷町筋に生玉神社のちょうど正面に歩道橋あるんですけど、あの歩道橋も相当老朽化してるし、祭りのときに歩道橋を通れずに道を通るわけですね、正門、ご承知のように、今年でしたかね、交通事故がありましたよね。亡くなったとか、大けがしたとか、そういうふう聞いておりますけども、あそこに信号等をつ

けていただいたら、まず衰退した商店街ももっともっと発展していくんじゃないかなと。天王寺区全体が文教の都市で、文教に関しては皆さんご承知のとおりですが、特に商店街が衰退している。歩行者天国とかそういうのをつくっていただいて、しょっちゅうはできないでしょうけど、試みに年に1回でも2回でもいいですから、そういう形でやっていただきたいのと。それと上町通は非常にきれいになってますけど、ちょうど何軒か出っ張って、区画整理のせいでしょうけど、皆さんご承知のように目ざわりな通り何軒かがあると思いますが、名前は申しませんが、その点、役所のほうとしてのご意見をお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

○西山区長

ありがとうございます。商店街の話ですけれども、もちろん、今小野委員おっしゃられた生玉商店街、大手通商店街もそうですし、天王寺区内、玉造の商店街もございます。確かに私も来て何度か拝見させてもらいましたけども、やっぱり歯抜けになってきている。これは天王寺区だけじゃなくてどこの区もそんな状況でございまして、我々も経済戦略局ともいろいろ話はさせてもらって、何か手を打っていかねばいけないなというのがございます。ただ、なかなか具体的なものがないので、今、小野委員がおっしゃられたような、にぎわいづくりという観点からも何かできないかというのを探っていけたらなと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○小野議長

もう一回、ちょっと忘れていました。路面電車が天王寺から住吉のほう出てますよね、住吉神社のほう、路面電車のYUFURAのほうへ向けてきてつなげたら発展するんじゃないかなと思います。なぜならば、世界見ても観光立国がやっぱり発展しておりますね、観光を主に置いている国は。そんな意味でそういうことを提案申しあげます。ありがとうございます。

○栗谷議長

飛田委員、お願ひします。

○飛田委員

何度もすみません。さっきちょっと原田委員の話を聞いてて、今、区運営の基本的な考え方の一番最初を見ているとどうも言葉に違和感があるので、もうちょっと何とかならないかな。サイレントマジョリティーの声って書いてあるんですけど、サイレントマジョリティーっていうのは、だいたい、そのまま言うとあまり声を上げない人。声なき大多数者という意味なのに、その声を集約して書いてあるし、大多数の頭にまた多様なと書いてあって何かだぶっているような気がするので、何かもうちょっとわかりやすい表現か、本当に言いたいことにしたほうがいいんじゃないかなと思います。

○西山区長

ありがとうございます。おっしゃるとおりで、別にサイレントマジョリティーの声だけ集めるわけじゃないので、広く区民の方の声を集めていくという趣旨で書かせてもらっていたんですけど、やっぱりおっしゃるように何か偏った表現がありますのでちょっと表現を考えさせてもらいます。

○栗谷議長

もう一件、すみませんけど、今年NHKの大河ドラマの真田丸が非常に好評ですごく玉造の方面でも人が動いているというのをお聞きしたんですけども、今度の日曜日にまた天王寺公園で「夢のまた夢」というのが開催されます。継続的に今後も何かそういうふうに行っていくのでしょうか。これだけたくさん大阪にまた外国人も来られますし、やはりこの真田丸の機会にもっと大阪の天王寺をアピールするというか、すごく前から戦国マップが非常に私も好きでPTA活動でも活用させていただいたのですが、非常に好評でわかりやすかったので、続編といますか、さらにもっと中を砕いた、さっき区長もおっしゃられましたけども、天王寺だけじゃなくて、横をつないだら阿倍野のことがわかったりするとか、連携したそういう取組、マップを重ねたらいろいろつなげていけるという、そんな方向で、そういうツールを考えていただければと思います。やはりこのNHKの大河ドラマという機会をもとにして、もっともっと天王寺を発信していただけるようなツールを考えていただければありがたいです。

○西山区長

ありがとうございます。真田幸村博を2年続けました。今年は観光協議会を中心に3回目という形でさせてもらっています。ようやく定着してきているのかなと思いますので、1つは継続してさらに定着させるというのも大事なかなと思っています。それだけじゃなくて、そこをベースにして先ほど私も申しましたけども、ほかの観光資源、歴史資源、結構あります。それを掘り起こしてつないでいくのが、つないでいくというか、役所が主体じゃなくて、こういうええのもあるよというのを協議会の皆さんとか、近隣の区の担当者とか、いろいろ工夫しながら広げていくというのも大事なかなと思ってますので、ぜひとも取り組んでいただきたいと思いません。

○栗谷議長

南委員、お願いいたします。

○南委員

今18日のこと言われたんですけども、18日は何か吹奏楽のコンサートもありますね、何か知らんけどかぶったらどっちも行かれへん。どっちか行くのかな、そんなんがあるので、なるべく、もし大きなことやるんやったら重ならへんように、今回18日で真田丸が終わるからその日になったんかもしれんけども、よければ行政のほうで、この日はこんなんあるからちょっと変えまじょうかとか、そういうのをわかればどうでしょうかねと。

○朝川副区長

できるだけ大きなイベントは調整するようには努めます。18日については、幸村博は朝の10時半、午前中からやっていますので、ぜひそっち行っていただいて、昼から吹奏楽フェスティバル、よろしくお願いいたします。

○栗谷議長

田淵委員、お願いいたします。

○田淵委員

先ほどモニターの回答率が悪いというお話やったんですけど、これは一般的に大概そんなもん違うんかなと、どうしても文書で回答せえというとな邪魔くさい言うたらおしかり受けるんで

すけどおっくうになってしまう普通のおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さんの方が多いんじゃないかなと。先ほどもお話ありましたように、つなげ隊と連動して、逆にヒアリングをして、それに答えをこちら側が記入してあげるような方向で、いわゆるサイレントマジョリティー、声なき声を吸収するというようなことやったら、もうちょっと回答率も上がるやろうし、お金も安つくしええん違うんかなと思うんですけども。

○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございます。区民モニターはやはりそういったスーパーですか、店頭になかなかお目にかかれない方にもお配りしているということで、そのぐらいの回答率なんですけど、ご指摘いただいたようにつなげ隊はスーパーですとか公園ですとか、また子育てサークル、いろいろなところに来られている方に、こちらのほうからお声がけして、実際にインタビュー形式で書いてもらうのではなくて、私どものほうからこういう施策を知ってますかということで、インタビュー形式でこちらのほうが記入するということが今現在も実施させていただいております。そういったこともありまして、つなげ隊のほうは、施策についてもご説明もできるスポークスマンの役割も持ちながらということになりますので、つなげ隊において認知度であるとか、聴取をすると区民モニターよりもいい数値をいただいているというところの傾向はございます。いろんな手段で皆さんのお声を幅広く吸い上げていくということが大切だと思っておりますので、インタビュー形式の聴取は続けてまいりたいと思います。ありがとうございました。

○栗谷議長

その他、ご意見いかがでしょうか。発言されてない方、もしいらっしゃいましたら、飛田委員どうぞ。

○飛田委員

何回も分けてすみません。防犯カメラの設置の件なんですけど、本年度、うちの地域で地活協の予算をつけて防犯カメラをつけるというのを実際やっています。その中でちょっと思っ、民間の電柱の引き込み灯に防犯カメラを取り付けるというのは全然障害も何もなく簡単にくんですけど、ちょっとうちの地域で、街路灯に防犯灯をつけようと思っ、これが結構すご

い大変だったという、やっと占有許可がおりたんですけど、もう少し簡単に地域の予算なりそういうものでつけれるようになったら、いろんなところに防犯カメラがつけれるんじゃないかなと思うので、何か区役所と市とがうまく話して、何かそういうやり方というのを考えていただければありがたいかなと。実際3回ぐらい行ってる中で、この資料が足りない、あの資料が足りないと言われて出し直す。出した後、今度警察へ行って道路使用願を出して意見書をもってそれをまた返すというような手間がかかって、何か簡単に地域でできないなと思ったので、その辺の支援があれば地域で何台かふやすというのでもっと防犯カメラをいっぱいあっちこち、通学路じゃないところでもつけられるのかなと思うので、よろしくお願ひしたいなと思います。

○朝川副区長

今回非常にご苦労されたということですので、それで今後同様にほかの地域でも、また飛田委員のところでもほかの街路灯とか設置するときに円滑にできるように、区役所が間に入らせていただきますので、また改めてお聞きさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

○栗谷議長

あといかがでしょうか。もしあれでしたら、せっかくの機会ですので、どんなことでも結構ですので、江畑委員、お願ひします。

○江畑委員

私は健康課題3の健康のための取組ということで、健康づくりのほうで皆さんの中いきいき体操を広めて、来年度は2回ぐらい皆さんのところでやって、あと、健康体操というのは1回とかそういうんじゃなくて、日常的に週1回ぐらいしないと効果があらわれないということなので、私たちも地域に5人ぐらい集まれば区役所のほうからまた教えに来ていただけるという細かい配慮もありますので、健康のためにこういう活動を来年度は頑張っていきたいなと思います。いいことだと思っております。皆さんもぜひ参加してください。

○栗谷議長

原田委員、お願ひいたします。

○原田照久委員

経営課題の6、最後のところで、これはお願いなんですけども、大きな公共を担う活力ある地域社会づくりということで、地域活動協議会、いわゆる地活協ですね、これの支援ということで、モニターの結果は確かに60%以下、これはおそらくまだ認知度が低いということだと思えます。確かこれ昨年よりは数値的には上がっているなという気がするんですけども、お願いしたいのはやっぱりそういう地活協の活動を支援していただく中で、いわゆる財政的支援ですね、これを行うとありますけれども、やはりできれば減らさないようにお願いしたい。この場では違うかもしれませんが、基本的には減らす方向でずっときてますので、できれば増やしていただきたいと、それによって地域の活動にもっと勢いが出ると、そういう気もしますので、よろしく願いいたします。

○朝川副区長

引き続き活発に活動していただけるように、また関係局とも協議をしていきます。

○栗谷議長

原田委員、お願いいたします。

○原田久仁委員

今原田委員がおっしゃったように、いろんな部分を減らさないでほしいという意見が出てきていると思うんですけど、逆に、区のほうで今いろんなボランティアや寄附の申し出が増えて多くあると思うんですね。例えばNHKの歳末助け合いで寄附金を募ったりというのがあるんです。ちょっと前でしたら真田幸村博も含めて、いろんな協賛を募って区が音頭をとって予算を集めたということもあったので、できるできないは別としても、何かそういうふうな区役所で活動する人たちのサポートになるような資金を集めるようなプログラムというか、そういう計画みたいなのが立てれないのかな。やっぱり無い袖は振れないので、かといってざくざく寄附をしてくれる方はいないかもしれないですけど、何らかの形で寄附を募る、もしくはそういったものをその地活協さんなり、いろんな団体さんに少しずつでもお配りするというようなことが、お金だけじゃないと思いますね、いろんな資源というものもあると思うので、何かそんなプログ

ラムがあればなと思って、もしあれば教えていただきたいです。なかったら一遍考えていただけたらなと思って、以上です。

○朝川副区長

大阪市の仕組みの枠組みとしましては、これは天王寺区から働きかけて市議会でご理解いただいて条例改定したんですけど、区政推進基金という基金がございます。その枠組みを使う形でこの数年間は六文銭ファンドと、それは天王寺独自に勝手に名づけてシティ・プロモーションを進めるためにご寄附お願いしていきました。結構ご協力いただきました。おっしゃるとおり、また先ほどからも話がありますけれども、真田幸村については1つ区切りがありましたので、これからまた違う形でどういう形で呼びかけることができるのかというのは皆さんのご意見をお聞きしてまた考えていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

○栗谷議長

そのほか、いかがでしょうか。もうそろそろお時間となってまいりましたが、もう一方ぐらいい、いかがでしょうか。

それでは、皆さんいろいろとたくさんのご意見をいただきありがとうございました。それではそろそろ時間となりましたので終了させていただきたいと思えます。

それでは、西山区長、コメントをひとつよろしくお願ひいたします。

○西山区長

皆さん、長時間にわたりまして、非常に貴重なご指摘、ご意見、ご提案等いただきました。ありがとうございます。今後区政にどういう形で反映できるのか、どういう形で実現させていけるのか、皆さんのご意見、またお伺いしながら、この場も含め個別にもお伺いしながら我々取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。どうもありがとうございます。

○栗谷議長

区長、ありがとうございました。

それでは最後になりますが、本日ご出席をいただいております足高議員にご意見をよろしく

お願いいたします。

○足高議員

皆さん本当に今日のご苦勞さんでございました。ちょっと防災のいろんな訓練のお話があったんですけど、私もだいたいいろんな場所、みんな行かせてもろてるんですけど、先ほど南委員がおっしゃったように、決まった人だけがいろんな役目をやってはったり、あるいはこの間も夕陽丘高校に寄らせてもらったんですけども、そのときも、俗に言う2連合ですね、隣同士の連合でおやりになったんですけども、どなたかというと名前がわかってすごくややこしいんですけど、こんだけしか来てないのかというようなお声があちこちの会場で多いです。

それと前も夕陽丘学園、学園坂のところも1回やりましたけど、あそこでも訓練をされたときに最初に何かありましたらという報告が入っても、誰が責任者かわからへんから、いろんな人が自分の仕事のように思っていて逆に動けてないんです。全然動かない。だから全然関係ない僕らがここやったらこないせなあかんのと違うのと言わんと動かんような、そのシステムがやっぱり行政としてちょっとしんどいと。もっとちゃんと皆さん方と一緒にできるシステムをつくって真剣にやらんと、要するにルーティン業務みたいに何か所やったらええとか、全部一通りやったらこれでおしまいやというようなことではやっぱりいかんと思いますので、それは逆に皆さん方も現地でそれを言うてあげてほしいんです。こんなことでええのかということ。その辺がご意見出なかったのでひとつ申しあげておきます。

それと防犯カメラ、区長言いはったようにどんどん増やしていただいていますし、建設局も天王寺公園は最低2個ずつちゃんとつきます。これもありがたいことなんですけども、ただ、それだけではなかなか先ほど栗谷議長も言いはったように、あそこのちょうどJRの横の真っ暗な通りですね、あそこでも、本当はもっと防犯灯をいっぱいつけたらいいんです。実は、もう10何年前になりますけど、真田山連合のところは非常に暗いところいっぱいあったんです。あの辺は大阪市が最近でもそう、6メートル間隔で防犯灯をつけると言いましたけど、当時は3メートルとかでもっと短い距離でずっとつけたんです。それは地域のPTAの皆さんがつけてほしいということでした。大江もそうなんです。大江も天王寺中学と大江校区と

かその辺の人が晩見に行って、この辺暗いって全部チェックしてやりはったんですよ。今それだけの努力をする人が私ども相談がないから言うわけじゃないですけど全然ないです。今、真田山公園ごらんになったらわかる。ものすごい電球をずっとセンサーつきでやってますよ。せやから、ちょうどあそこランニングコートありますから、晩でも1人で走ってはります。明かりがあるだけで防犯は大分ちゃうと思うんです。せやから、確かに防犯カメラが一番いいんですけども、それは防犯やから、先ほどおっしゃったように、それぞれの民間のところ、うちの商店街でも防犯カメラ、商店街でも3つ続いているんですよ、日之出通というところは。ところが、あんまり言うといかんけど、動いてるのと違うのとあります。どれとは言いませんけどね、それで捕まえたやつもありますけども、そんなんもありなんですよ。お金がない地域といいますか、そこはそういう形で対応されてますので、やはりいろんな形で防犯カメラつけることはええんですけども、できないときにはやっぱり明かりをちゃんとつけるとか、例えばダミーをやるとか、いろんな工夫をしながらやっていかんと、そう簡単にお金がどんどんどんどん何でも湧いてくるわけではないので、そういう工夫もしながら皆さんで防犯も含めておやりになることが大事かなというような思いがあります。

いろいろお話しさせてもうたらいっぱい時間になってまた怒られますからあまり言いませんけどね、皆さん方、こうやっていろんな意見を言うていただくことが、行政自身もしっかりと本気で戦ってくれると。先ほどモニターの話がありましたけど、モニターは基本的には大阪市でも300あったらええんです。300あると全体の平均が出るというシステムになっているらしいです。これは大阪市の昔から担当されてるところがいろんな大学の先生を入れて、最低ですよ、何ぼようさんとってもええんですけども、最低300あったら全体の傾向が出るというのがそのモニターの何かシステムだそうです。ちょっとそれはご参考だけお話をしときます。

ほかにもいっぱいあると思いますけれども、こういう会議は大事でございます。皆さんが言うことによって天王寺区がもっとようなりますから、本当は真田のやつもずっと続いたらいいけどなかなか予算も含めて難しいかもわかりませんが、新しい天王寺とそれこそ歴史と文化のまちと言うとるんですから、新しい発想でまたつくっていただいたらありがたいと思いま

すので、これからも皆様のお力で天王寺区をよくしてください。どうもありがとうございます。

○栗谷議長

足高議員ありがとうございました。議題につきましては以上で終了とさせていただきます。

ここで区役所のほうに進行をお返しします。

○佐藤事業戦略担当課長

小野議長、栗谷議長、また委員の皆様、多くのご意見をいただき、長時間、熱心なご審議まことにありがとうございました。お礼申し上げます。

また足高議員、貴重なご助言、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして平成28年度第2回天王寺区区政会議を終了させていただきます。お忘れ物のないようお気をつけてお帰りくださいませ。どうもありがとうございました。

—了—